



オオバン

Fulica atra
我孫子市鳥の博物館友の会

No.50

2009年9・10月

手賀沼の魚からみえるもの

科学ジャーナリスト
柴田佳秀

「えー！あんな汚いところで魚なんか釣れるの～？」。今から3年ほど前、知り合いの小学生に手賀沼で魚が釣れることを話すと、こんな反応が返ってきた。すでに当時の手賀沼は水質ワーストワンから脱し、だいぶきれいになっていたのだが、この小学生はとてつもない汚い沼だと思っていたようだ。どうやら、学校の手賀沼見学で水底からすくったヘドロの臭いを嗅がされ、その時の印象が強く残っているのだという。いまだに多くの人々が、この小学生のように、手賀沼は魚も棲めない汚い沼と思っているのではないだろうか。

ところが現在の手賀沼は、岸辺に立ってもヘドロの臭いはしない。それどころか場所によっては無数の小魚がかたまって泳い

でいたり、水中の杭におびたしい数のスジエビがいて驚かされる。その光景をみると、本当にここが日本一汚い沼だったのかという思いがする。

私の専門は鳥であるが、淡水魚もたいへん興味がある。というとなんやら聞こえが良いが、なんのことはない、三度の飯よりも魚釣りが好きな“釣りバカ”である。

そんな釣りバカが、我が家から車で10分の手賀沼に注目しないわけではない。時間が許す限り手賀沼に通っている。一応ナチュラルリストの端くれの自覚があるので、ただ釣りをするだけでは格好がつかないから、沼で釣ったり目撃した魚種の記録をつけている。

始めたのは2005年5月からで、4年経った2009年7月現在で32種の魚と出会った。過去の資料によると手賀沼でこれまで記録された魚は49種であるから、4年間で32種というのは、私の予想をはるかに超えた数で少々驚いている。なかでもタナゴ類は6種が見つかり、これは全く予想外のことだった。

タナゴ類は、淡水二枚貝の中に卵を産む風変わりな習性を持っている。その淡水二枚貝は、水質の変化や環境の変化に弱いため、日本各地で姿が減りつつある。産卵になくってはならない二枚貝が減ってしまえば、とうぜんタナゴ類も減ってしまう。そのため、多くの種で絶滅が心配されるまで減っている。関東地方では霞ヶ浦や北浦まで出なければ、姿が見られない魚なのである。そんな



タナゴ

魚が手賀沼にいるのだから驚きなのだ。

手賀沼のタナゴ類でいちばん多く見られるのが、タイリクバラタナゴである。本種は中国からの帰化種なので、存在自体はあまり喜ぶべきではないかもしれないが、一時はこのタナゴさえ珍しかったという。しかし、今の手賀沼では本当にあちこちで見られるようになった。

在来（もともと手賀沼にいた）のタナゴ類は本当に少ないが、ヤリタナゴとタナゴ（通称マタナゴ）、アカヒレタビラが確認できた。ヤリタナゴは、手賀沼の流入河川にはずっと生息しており、その一部が本湖にもあらわれるようになったのだろう。しかし、最大の生息地である流入河川が河川工事で破壊されてしまったのは、悔やまれてならない。

タナゴは、環境省レッドリスト絶滅危惧B類、千葉県レッドリスト重要保護動物に指定されている貴重種。初めて釣り上げたときは、まさか手賀沼にタナゴがいるとは思っていなかったのも、最初は変なヤリタナゴだなと思ったが、よくみるとタナゴなので慌てたことを覚えている。文献では1985年頃に絶滅したとされるが、水の館便り68号によると2006年12月に本種が漁師の網に入ったのを確認しているとのこと。手賀沼に定着していることは確実である。それでも私の確認数は、年間3937匹釣ったうちのわずか2匹であるから、生息数はものすごく少ないに違いない。

では、なぜ今になってタナゴ類が復活傾向にあるのだろうか。それは淡水二枚貝の復活であろう。かつて手賀沼は、タマツケと呼ばれるカラスガイやドブガイの宝庫だったという。それが水質の悪化と共に姿を消したのだが、2000年から始まった北千葉導水路事業による注水によって水質が改善し、淡水二枚貝も復活したのではないかと考えている。それによってタナゴ類も繁殖が可能となり、現在の復活傾向となった。事実、毎年、おびただしい数のタイリ

クバラタナゴの稚魚をみるので、沼には相当たくさんの貝があるにちがいない。

なんだか嬉しいことばかりのタナゴ類の復活であるが、ここで注意しなければならないことがある。それは人による放流である。タナゴ類は釣り人に大変人気があるので、様々な思惑で放流されている。手賀沼にもかなりの数のタナゴ類や貝類を放流したという話を聞く。復活したと喜んだけど、誰かが放したものだとは後からわかるとがっかりである。また、国内移入種のカネヒラや外来種であるオオタナゴなどの本来手賀沼に生息するはずのないタナゴ類が放流されている事実は問題だ。

とくに外来種であるオオタナゴは、霞ヶ浦では増加しており、産卵母貝を奪ってしまうなどの影響を在来種に与えているという。手賀沼でもオオタナゴは増加傾向であり、せっかく復活した在来タナゴ類に悪影響を与える可能性が心配だ。とにかくどんな思惑でも、生きものを放すことは謹んでもらいたいと切に思う。

さて、淡水二枚貝を復活させる大きな役割をはたした北千葉導水路による注水は、タナゴ類だけではなく、他の魚にも少なからず影響を与えている。注水前の沼の様子を示す資料を読むと、私が確認した32種の多くが「ほとんど見られない」または「絶滅した」となっている。それらの魚が確認



小魚大群

された事実は、明らかに注水による水質改善によって魚の種数が増していることを示している。生物多様性の観点からいえば、手賀沼の自然が良くなっているといえるかもしれない。

しかし一方で、注水による魚への影響は、負の一面も併せ持つ。たとえば、サケの遡上がそのひとつである。2006年に大堀川に遡上して話題になったことは記憶に新しいが、それ以降毎年サケが手賀沼水系に姿を見せるようになった。一部では水質浄化の表れと歓迎されているようだが、実際は利根川に遡上する個体が、手賀沼に迷い込んだにすぎない。北千葉導水路からの注水が利根川の水なので、臭いを頼りにして遡上するサケの一部が、手賀沼を利根川と思い入ってしまったのだ。大堀川をのぼったサケは、産卵行動をみせるが、産卵に適した環境ではないので子孫を残すことはできない。迷ったあげく無念の死を遂げ水に流されるサケの姿は不憫である。

また、導水路からの注水が始まってから、水がきれいになるにつれて、魚の量が減ったという話も聞く。とくに佃煮の材料となるモツゴの漁獲が減ったという。「水、清ければ魚棲まず」というが、水質が良くなり富栄養化が改善されると、植物プランクトンが減り、それを食物とする動物プランクトンも減る。さらに動物プランクトンを食する魚も減る。世間の常識では、水がきれいになると魚が増えると思われてい

るが、実際にはその逆である。例えばアオコで問題になった諏訪湖では、ワカサギの漁獲量が一番多かったのは、湖の水が汚れてアオコが大発生した1970年代。その後浄化が進んで湖の水がきれいになると、ワカサギの漁獲量も減少したという。手賀沼でも同じ事が起きていることは、容易に想像できる。

北千葉導水路によって水質が改善されると、魚種が増えたが、魚の量は減った。これはいったいどうとらえたらいいのだろうか。現在の手賀沼の自然は、改善されているのかそれとも悪い方向に向かっているのか、その判断はむずかしい。

しかしながら、かつてのように湖面がアオコに覆われ、ヘドロの臭いがたちこめる手賀沼で良いはずがない。水質が改善された手賀沼には多くの人々が訪れるようになった。川や湖は人々の関心が無くなると死んでしまう。多くの人々の目が水面に向けられていけば、これからの手賀沼は生きていけるはずである。愛されてこそ手賀沼なのだと思う。

筆者紹介：柴田佳秀さんは東京都出身で、現在柏市在住。専門は鳥類学全般、カエル類、淡水魚。日本科学技術ジャーナリスト会議、日本鳥学会他会員。NHK生きもの地球紀行シリーズ他映像作品、著書多数。各テレビ、ラジオ出演や各地での講演などで活躍中。6月28日の「鳥博セミナー」で講演いただきました。

9・10月 行事カレンダー

9月5日(土)	友の会展実行委員会 4	10日(日)	友の会役員会 4
12日(土)	デジカメ撮影会・谷津 4 手賀沼定例探鳥会(鳥博) 14		手賀沼定例探鳥会(鳥博) 14 フロアスタッフイベント(鳥博) 15
19日(土)	鳥絵同好会 鳥凧同好会 4	12日(月)	デジカメ撮影会・葛西臨海 4
20日(日)	みて歩こう会・都電荒川線 5	17日(土)	鳥絵同好会 鳥凧同好会 4
26日(土)	デジカメ室内会 4 フロアスタッフイベント(鳥博) 14	18日(日)	みて歩こう会・武蔵国分寺 6 ペーパークラフト教室 7 ミュージアムコンサート 15
27日(日)	友の会探鳥会 4 鳥絵同好会 4	24日(土)	デジカメ室内会 5
29日(火)	みて歩こう会・横浜 5	25日(日)	鳥絵同好会 4 デジカメで野鳥を撮る 7
10月1日(木)	友の会展(~11月29日) 7	11月4日(水)	みて歩こう会・北新田 6
4日(日)	あびこ自然観察隊 15		

行事案内

【友の会：あけぼの山・北新田探鳥会】

期 日 9月27日(日)
集 合 我孫子駅北口ロータリー 8:00
車に分乗して移動します。
解 散 正午頃の予定
持ち物 観察用具、雨具
申込み 井上 正、松田幸保まで。
車を提供できる方はその旨も。
Tel/Fax 04-7169-3399
Mail tomo-inouye@jcom.home.ne.jp
(申込受付専用)

内 容 あけぼの山でツツドリやヒタキなどを
探した後、北新田で秋の渡り鳥を中心に探鳥
します。

鳥絵同好会

期 日 第174回 9月19日(土)
第175回 9月27日(日)
第176回 10月17日(土)
第177回 10月25日(日)
定例日は第3土曜日と第4日曜日です
時 間 9:30 ~ 12:00
会 場 友の会ルーム

標本借用の予約ははがきで下記へご連絡
下さい(開催日前の水曜日まで)。
当番が変わりました。

〒270-1145 我孫子市高野山 123-31
森元 夏木

友の会展の作品出展について

ご案内のとおり、今年も友の会展で作品
を発表します。各自2点出品できるよう準備
をお願いします。

鳥凧同好会

定例会合

期 日 9月19日(土)
10月17日(土)
時 間 13:30 ~ 16:00
場 所 友の会ルーム
・10月17日は全員で、同時開催の友の会展
イベント「鳥グライダー教室」の製作指導に協
力します。

・鳥凧同好会では、各自独創的な鳥凧作りに挑
戦しています。はじめての方には製作指導を行
います。お気軽に参加ください。

デジカメ同好会

9月の会

谷津干潟・三番瀬
期 日 9月12日(土)雨天中止
集 合 我孫子駅改札口 8:00
交 通 電車・バス利用
今回は谷津干潟へ先に行きます。
新松戸発 8:34のJRに乗ります。
南船橋着 8:56
内 容 谷津干潟の後三番瀬に回り、シギ・チ
などを撮影。

持ち物 観察・撮影用具、雨具、弁当
(途中弁当購入可)

申 込 諏訪まで。我孫子から乗車か柏か
ら合流かもご連絡下さい。

Mail tsuwabiko@jcom.home.ne.jp
Tel 04-7188-7137

担 当 諏訪哲夫、安野昌彦

室内会

日 時 9月26日(土)13:30 ~
場 所 友の会ルーム
内 容 三番瀬・谷津干潟撮影会などの作
品発表他

10月の役員会

日 時 10月10日(土)13:30 ~ 16:00
場 所 鳥の博物館友の会ルーム
議 題 1. 報告
2. 11月以降の行事
3. 会報「オオバン」No.51・52号
の発行
4. その他

友の会展実行委員会

日 時 9月5日(土)13:30 ~ 16:00
場 所 鳥の博物館友の会ルーム

10月の会

葛西臨海公園撮影会

期 日 10月12日(月・祝)
 雨天の場合は室内会予定日(10月24日)に変更
 集 合 我孫子駅改札口 8:00
 交 通 電車利用。新松戸乗換え、武蔵野線・京葉線で葛西臨海公園駅下車。
 乗車予定電車: 我孫子8:07発 新松戸8:20着 新松戸8:26発 葛西臨海公園9:00着
 案 内 林の鳥、水辺の鳥を撮影します。
 持 物 撮影用具、雨具、弁当(葛西臨海公園駅のコンビニで購入可)
 申 込 井上までメールまたは電話で申し込んでください。
 新松戸で合流される方、葛西臨海公園駅で合流される方
 合流地点、合流方法もご連絡ください。
 Tel 04-7169-3399
 Mail tomo-inouye@jcom.home.ne.jp
 (申込受付専用)
 担 当 井上 正、野口隆也

室内会

期 日 10月24日(土) 13:30
 場 所 友の会ルーム
 内 容 撮影会などの作品発表他

みて歩こう会

第74回 都電荒川線に乗る

期 日 9月20日(日) 雨天中止
 集 合 JR我孫子駅改札口内 8:00
 JR南千住駅改札口内 8:30
 解 散 都電荒川線 庚申塚 14:30頃
 コース 我孫子 南千住...三ノ輪橋 早稲田...椿山荘...鳩山邸...東京カテドラル...芭蕉庵...新江戸川公園(昼食)...早稲田 鬼子母神前...雑司ヶ谷鬼子母神...鬼子母神前 庚申塚...とげぬき地蔵...庚申塚(解散)

みて歩こう会各行事の共通案内

・参加申込 特に定めのない限り申込不要。
 ただし、集合場所以外の途中から合流参加される方は、その旨ご連絡下さい。
 ・参加費用 1人1回100円。交通費、入館料、その他費用は各自払い。
 ・催行連絡 荒天等で中止する場合は、実施日 前日の18時に決定しML(メーリングリスト)で連絡します。
 みて歩こう会MLに登録されていない方は、18時以降担当まで確認ください。

費 用 我孫子 南千住 往復900円
 都電一日乗車券 400円
 鳩山邸入館料 500円
 持ち物 弁当、飲み物、敷物
 申 込 別項共通案内参照
 担 当 岡 廣志 Tel 04-7169-5364
 弘実さと子 Tel 04-7185-2695
 都電荒川線は三ノ輪橋と早稲田間(12.2)を50分で結ぶ、1系統だけ残った都電です。沿線は昭和の匂いがする下町です。下町探訪を楽しみましょう。それと比較して山の手の目白にある庭園を散策してみましょう。

第75回 横浜ベイエリアを歩く

期 日 9月29日(火)
 集 合 我孫子駅改札口内 8:30
 解 散 大棧橋 14:30頃
 コース 我孫子 日暮里 桜木町...汽車道...神奈川県立博物館...横浜市開港記念会館...県庁...横浜税関本関庁舎...赤レンガ倉庫(昼食)...海上保安庁工作船展示館...大棧橋
 費 用 都区内フリー切符1300円 蒲田~桜木町290円×2=580円
 持ち物 飲み物、弁当、双眼鏡、筆記用具
 大棧橋には様々なレストランがあります。
 申込み 別項共通案内参照
 担 当 松下勝子、上野竹子
 畠中暁美 Tel 04-7185-0611

行事案内

横浜は今年、開港 150 年ということです。この際ベイエリアに残されている近代建築をいくつかみて歩こうと思います。キング、クイーン、ジャックと呼ばれている建物、横浜税関本関庁舎、海上保安庁の工作船展示室も見学します。歴史に思いをはせながら横浜を歩いてみましょう。

水分補給、暑さ対策は充分に気をつけてください。

第 76 回 武蔵国分寺 お鷹の道を歩く
期 日 10 月 18 日 (日) 雨天中止
集 合 JR 我孫子駅改札口内 8:00
武蔵野線新松戸発 8:26 (府中本町行)
解 散 西国分寺駅 14:15 頃
コース 我孫子 新松戸 西国分寺 武蔵国分寺... 滄浪泉園... < はけの道 > ... 殿ヶ谷庭園... 不動橋... < お鷹の道 > ... 真姿の池... 国分寺公園 (昼食) ... 国分寺万葉植物園... 武蔵国分僧寺跡... 国分尼寺跡... 黒鐘公園... < 鎌倉街道 > ... 西国分寺
費 用 我孫子 武蔵小金井、西国分寺
我孫子 計 2,100 円
トクトク切符利用の場合
都区内フリー切符 1,300 円
差額 (160+210 = 370) 計 1,670 円
入場券 滄浪泉園 100 円
殿ヶ谷戸庭園 150 円
持ち物 弁当、飲み物、敷物
申 込 別項共通案内参照
担 当 弘実さと子 Tel 04-7185-2695
青木典子

東京都の西、武蔵野の面影が残る小金井や国分寺辺りには、国分寺崖線と言われる武蔵野台地を多摩川が侵食して出来上がった 30 もの距離に及ぶ段丘があり、湧き水が至る所で見られます。その湧き水を水源とした小川沿いの遊歩道「お鷹の道」を歩いてみませんか。

第 77 回 北新田でタゲリを探鳥する
期 日 11 月 4 日 (水) 小雨決行

集 合 天王台駅北口ロータリー 8:30
解 散 同上 12:00 頃の予定
コース 天王台駅北口... 柴崎神社・東源寺
... 北新田 (北新田橋付近でタゲリ探鳥)
... 6 号線信号青山台入口... 無量院... 天王台駅北口 歩行約 7 km
費 用 我孫子駅から乗降の場合、往復
380 円
持ち物 飲み物、筆記用具、雨具、双眼鏡等
申込み 別項共通案内参照
担 当 井上 正 Tel 04-7169-3399
中野久夫

北新田の自然を楽しみます。田んぼにはタゲリが来ており、空にはノスリやチュウヒ、チョウゲンボウも飛んでいるでしょう。それらを探しながら歩きます。秋の半日は非参加ください。

友の会 HP に

フォトギャラリーを開設

あなたの撮った写真を HP に載せてみませんか。友の会の HP には、これまでデジカメ同好会の会員の撮影した鳥の写真を紹介する「デジカメ写真集」があり好評を得ているが、このほど一般会員が撮ったデジカメ写真を発表する場として新たに「フォトギャラリー」が開設された。

これは、友の会会員がデジカメで撮った身近な自然を対象とした写真を発表する場で、対象は鳥に拘らず、動物、昆虫、植物など。撮影場所や撮影日などタイムリーに発表することにより、作品として楽しむと同時に情報交換の場としても期待されている。

作品の掲出を希望する場合は、写真と題名・撮影場所・撮影日・撮影者を添えてメールで下記宛て送ってくださいとのこと。

送り先：井上 正 (tad-ino@jcom.home.ne.jp)

寄付金一覧

次の方々よりご寄付を頂きました。誠にありがとうございました。

2008 年 7 月	デジカメ同好会	9,002 円
2009 年 7 月	デジカメ同好会	3,414 円
2009 年 7 月	小山雄司様	3,000 円

第6回友の会展の開催

鳥の博物館友の会の日頃の活動を紹介し、一般市民の方に友の会を知っていただくとともに展示作品をとおして鳥と鳥を取り巻く自然環境に関心を寄せていただこうとの狙いで、今年も10月1日(木)から11月29日(日)まで鳥の博物館2階企画展示室で第6回友の会展を開催します。

会場には、デジカメ同好会のメンバーが撮影した鳥の写真、鳥絵同好会のメンバーが描いた鳥の絵画、鳥凧同好会のメンバーが製作した鳥凧が展示されます。

みて歩こう会は、過去一年間の活動状況をパネルを使って紹介しています。また我孫子の史跡を歩く(1)では、松ヶ崎城跡、根戸城跡などを詳しく紹介し、我孫子の史跡を歩く(2)では、芝原城址などを詳しく紹介しています。

友の会会員が集めた鳥に関するグッズ多数を展示し来館者の目を楽しませます。

また、企画展示「珍客万来」では我孫子市周辺で観察された珍しい鳥24種の観察記録の展示を行っています。多くの珍しい鳥が観察されているのに驚かれるでしょう。

期 間 10月1日(木)～11月29日(日)

場 所 鳥の博物館2階企画展示室

担 当 友の会展実行委員会

期間中のイベント

友の会講座

日 時 11月22日(日) 13:30

場 所 鳥の博物館2階 多目的ホール

演 題 珍鳥・迷鳥・外来種(仮称)

講 師 鳥の博物館学芸員 斉藤安行

講演内容の詳細は次号でお知らせします。

鳥グライダー教室(鳥凧同好会担当)

日 時 10月17日(土) 13:30～15:30

場 所 鳥の博物館2階 多目的ホール

内 容 発泡スチロールで、鳥の形をしたグライダーを作り飛ばします。よく飛びます。必要な材料・道具はすべて提供します。

対 象 小学3年生以上(2年生以下は保護者同伴で)

申 込 不要。ただし、先着15名まで。

鳥凧教室(鳥凧同好会担当)

日 時 11月21日(土) 13:30～

場 所 鳥の博物館2階 多目的ホール

青野宏のペーパークラフト教室(鳥絵同好会担当)

日 時 10月18日(日) 13:30～

場 所 鳥の博物館2階 多目的ホール

講 師 青野 宏

デジカメで野鳥を撮る(デジカメ同好会担当)

日 時 10月25日(日)

10:00～12:00 13:00～16:00

11月3日(火祝)

10:00～12:00 13:00～16:00

場 所 鳥の博物館3階 展望テラス

デジスコと一眼デジカメで鳥を撮ります。

上記イベントはいずれも参加費は不要です。ただし、友の会員以外の方は入館料(300円)が要ります。

友の会展は当初10月3日からの予定でしたが都合により1日からの繰り上げ実施となりました。

本年度日本女子オープンゴルフ

我孫子ゴルフ倶楽部で開催

本年度の「日本女子オープンゴルフ」は10月1日から4日まで、我孫子ゴルフ倶楽部で開催されます。

期間中、選手はもとよりギャラリーが各地から4万人強訪れます。市ではこの機会に来観者に我孫子の魅力を知ってもらおうと共に、市民にはゴルフについて理解を深めてもらおうと、いろんな催しが検討されています。

その一環として鳥の博物館でも「鳥とゴルフ」の関連について詳しく解説するコーナーを設け、資料などを展示することになりました。

バーディー、イーグル、アルバトロス。ゴルフ用語に鳥に関する言葉が使われているのは何故でしょう。興味深いものがあります。

コーナーは、10月1日から開催されます友の会展の会場内に設置されます。友の会展ともども是非足を運んで楽しんでください。

大磯・逗子撮影会に参加して

デジカメ同好会 渡邊 戌

「大磯照ヶ崎海岸で海水を飲みに来るアオバトを撮った後、逗子と葉山町にまたがる二子山で夏鳥を探す。」の案内に、6月13日(土)9名が参加しました。実は今年の大磯・逗子撮影会は撮影地の混雑に配慮し、3班に分かれて行われました。前日の12日(金)は大磯先行組(7名)と逗子先行組(7名)の2班でした。

私の撮影会参加は、本年3月にEOS-50Dにシグマ150-500mmの組合せ(別名、中根さん仕様?)を購入し、3月の房総のむら、5月連休の秋ヶ瀬公園に引き続き、今回で3度目になります。鳥もカメラも素人の私としては、二子山のサンコウチョウ、大磯のアオバトと言うターゲットが明確な撮影会です。まず間違いない、期待は膨らみます。

6月10日に関東地方の梅雨入りが発表されましたが、当日の13日(土)は幸運にも晴れ。これでアウトドア行事として80%以上は成功でしょう。我孫子駅6時30分集合、出発し、東京駅集合組が加わり、逗子に向かいました。

案内では大磯から逗子にとの予定でしたが、二子山の撮影地混雑を想定し、逗子先行と変更になりました。逗子駅からタクシーに分乗、二子山(208m)登山道入口まで行き、沢沿いの山道に入ります。町の近くのうっそうとした深い森で、ちょっとした深山幽谷の感があります。

9時半頃に撮影ポイント到着、すでに40名くらいのカメラマンがそれぞれ狭い山道の各所で陣取っていましたが、その中に入れていただき11時頃まで撮影をしました。サンコウチョウ、特に尾の長いオスを撮る機会は3回あったと思いますが、その内の一回だけは視認できてシャッターを押したのですが、全てピンボケでした。ISOの設定ミスがあり、更に、何と常にONの筈の手振れ補正機能がOFFになっています。基本の確認動作がぬけていたのです。猛反省です。

下山後、逗子駅で昼食を取り、大磯に移動。大磯駅から照ヶ崎海岸まで徒歩20分程度です。途中の路面にプレートが埋め込まれており、「大磯海水浴場、明治18年わが国最初の海水浴場として照ヶ崎海岸に開設された。その後、海水浴場は関東大震災により北浜海岸に移っています。」と

のこと、地震で地形が変わったのでしょう。

また、照ヶ崎海岸は神奈川県指定天然記念物「大磯照ヶ崎のアオバト集団飛来地」に指定されています。その入口の看板には、「丹沢山地から飛来するアオバトが多く、初夏から秋にかけて多い時には一日で1000羽以上が観測されます。このことは、満潮時でも海水を飲むことが出来る岩礁があること、背後に大磯丘陵が接近して深い森林に恵まれていることなどの好条件を備えているためと思われる。」とのこと。高い防潮堤に囲まれて、わずかな砂浜があり、アオバトが海水を飲むことの出来る岩礁が半島のように南に広がる海に突き出しています。

13時40分頃から15時30分頃まで撮影をしました。土曜日の所為か、子供連れの家族が多く、肝心の岩礁の近くで磯遊びをしています。岩礁の先端部には釣り人もいます。アオバトが下りるには条件が良くありません。待つこと数十分、アオバトが上空を舞い、海に向かって右手(西側)の、遠くて小さな岩礁に下り立ちました。

しかし、撮影には逆光となり、アオバト固有の緑色、羽の栗茶色がはっきり分かりません。この後、同じような所に2、3回出てくれましたが、逆光は変わりません。撮影終了近くになり、やっと左手(東側)の岩礁にアオバトが下りてくれ、順光でその色の美しさ、舞い下り舞い上がる様子を十分堪能することができました。飛翔している写真も撮ったのですが、ピンボケの少ない何とか見ることの出来る写真が1枚だけ撮れていました。今日は群れも10羽程度で飛来回数も少なく、これまでに比べてアオバトが少なかったようです。

今回の撮影会では、印象的なサンコウチョウのコバルト色やアオバトの緑色を一日で十分楽しむことが出来ました。

奥庭撮影会に参加して

デジカメ同好会 岩下五郎(写真も)

鳥撮りを始めて早3年、今までは特定の会等には入っておりませんでした。昨年10月に友の会に入会しました。入会後の撮影会は、6月の大磯、逗子に続き今回が2回目の参加となります。

当日の気になる天気も富士山五合目に近づくにつれ回復し、富士山頂や遠く南アルプスを望みつつ現地に着きました。

カメラを据えた直後からキクイタダキのお出ま

し、昼食中には「ホシガラスが出たよ！！」の声に食事もそっこのけとなる状態、忙しい時間が過ぎました。

お蔭様で夏の高山でしか見られない野鳥を数々ゲットすることができました。

往復のバスの中では、おいしい飲み物をいただきながらベテラン会員から技術指導？を受けるなど楽しい一日を過ごすことができました。

計画をしていただいた幹事様には大変お世話になりありがとうございます。また、多くの皆様ともお知り合いになれ感謝しております。

また、次回からの撮影会にも欠かさず参加したいと考えております。



富士山・奥庭荘

小江戸 川越を歩く

みて歩こう会 茨木正義

川越、NHK連続テレビ小説「つばさ」の舞台で、川越の街は、のぼり、ポスターで溢れかえり、お店の話では観光客は以前の3割増しの年間1000万人近くになっているという。

今、ブームの真っ最中である。川越といえば菓子屋横丁、蔵造りの町並みしか頭になかったが、本日のみて歩こう会で、あらためて、川越が歴史と文化の町であると実感させられた。

6月21日は、天気予報では雨、小雨決行となっているので念のため、MLをチェックする。雨の朝、我孫子駅8時15分集合、皆さん雨の朝で参加を敬遠されたい。6名の少数精鋭で出発、迷い子の出ようがないとは担当の方の言。

9時30分、川越駅着、駅ターミナル付近は整然と建物が並んで第一印象は好印象。先ず浄土真宗本願寺派の「光西寺」、慶応3年に石州派浜田藩から移籍の寺で、行き届いた庭木の手入れに見入った。雨にもかかわらず多数の観光客で賑わっている。

次いで天台宗「中院」、島崎藤村が義母に贈った茶室「不染亭」が移築され、藤村書の「不染の碑」がある。川越は起伏のない平坦な町だ。「仙波東照宮」に居合わせたバスガイドさんによれば、久能山、日光と並んで三大東照宮であるとのこと。柳沢吉保寄進を含む26基の石灯籠が据えられている。観光都市とあって、川越の街路は完璧に整備されている。

徳川家康のブレーンとして歴史に残る、名高い天台宗僧侶天海の寺「喜多院」に来る。天気の良い日には、広場に沢山の屋台が出るそうで、ここでも足元が悪いにもかかわらず参拝者が多い。

江戸城から移築した家光誕生の間、春日局の間があり興味はつきない。境内にある石仏の五百羅漢は538体もあり、様々な表情は大変親しみを感じた。

お昼も近くなり、川越で有名な食事処に皆さんと入る。一緒に食事するのもおつなものだ。

地元の人から「うきしま様」と呼ばれているらしい、安産の神様「浮島稻荷神社」に参拝。次に川越城富士見櫓跡に、川越で唯一の小高い所に位置し、戦略の要であったろうと思はれる。

わらべ唄「とおりやんせ」発祥の地といはれる天神様「三芳野神社」は静かなたたずまいだ。本来ならば、寺社めぐりのメインであるはずの「川越本丸御殿」は現在保存修理工事中であり、完了すれば大田道灌の手による御殿が見られることでしょう。

川越市役所そばの大田道灌像を拝見して、蔵造りの通り「札の辻」へ。菓子屋横丁散策から、川越のシンボル「時の鐘」に行く。260円で統一されていると思われるソフトクリームで皆さん一息入れる。

いにしへの街から現実の街に入り、延々2キロメートルに近い商店街クレアモールを抜け、振り



出しの川越駅に着く。出発から6時間半、19000歩数、13キロの散策、歩こう会の皆さんにも見ていただきたかった歴史と文化の町川越の隠れた見所を堪能して帰路についた。

碓氷峠廃線跡を歩くに参加して

みて歩こう会 小林 秀美

梅雨明け宣言は出たものの「海の日」の祝日でもある7月20日の天気は薄曇り。だが、歩くにはもってこい。上野発、高崎経由横川までは各駅停車の旅だ。驚いたのは、グリーン車が2輛もあったこと。座席はほとんど空いていたけれど。

現地に着いてみると、澄んだ夏空に太陽が輝いている。若干ひるみつつ、軽いストレッチのあと廃止になったアプト式線路跡の遊歩道を歩き始める。帽子だけでは足りず日傘もさすが、汗が噴き出す。遊歩道沿いに走る可愛いトロッコ列車には手をふり、格調高い旧丸山変電所を横目で覗き、美しい周辺の緑に励まされて歩く。

やがて林にさしかかると、吹く風までが淡い緑に変わった。橋の上などは、勢いよく流れる水の冷気が昇り、殊に涼しい。所々にある看板の「山ヒルに注意」という文字を気にしていると、そのうち「mamushiに注意」「スズメバチに注意」「熊出没注意」「猿にエサを与えないで」など、次々に注意事項が現れる。つまりは、不自然なことをしていない、人間中心ではない自然がそこにあったのだ。

トンネルを5つ抜けたところで、美しい煉瓦造りの4連アーチ式鉄道橋、めがね橋に出る。長さ

91m、高さ31m、国内最大の煉瓦アーチ橋とのこと。見所はやはり下から見上げた姿に違いなく、頑張っ下っていった。キビタキの澄んだ響りが響き、深い緑陰の爽やかさ、水音と相まって疲れも吹き飛ぶ思い。

この見事な橋は明治25年に200万個以上の煉瓦を使い、わずか7ヵ月で建造というが、煉瓦を山中まで運び込むだけでも難儀であろうのに、どんな工法をとったものか、驚きである。

昼食は「峠の湯」のコテージ傍の芝生の上で、まだ温かい横川名物の釜飯を頂く。ツバメが忙しく飛び交い、ヒバリが啼きながら空高く揚がってゆくのを眺めつつ。

その後向かった中山道の宿場町、坂本宿では猿が現れた。家の中にまで入り込み、困りものだったことだった。屋号を掲げた家々は今風のもの



中山道・坂本宿

多かったが、復元中のところもあった。億単位の費用がかかるそうである。

それはともあれ全体に水の豊富な地域で、今回は道中ずっと水音と共に歩くことができた。坂本

宿でも、縦横無尽に走る側溝を勢いよく流れる水の音は、何とも心地よいものだった。疲労軽減に大いに役立ってくれたと思う。

最後に碓氷峠関所跡を訪ね、「おじぎ石」の前で素晴らしい一日を感謝し、昔日の賑わいに思いを巡らし、充実の旅を終えた。

正誤表

49号7頁の秋ヶ瀬公園撮影会報告文の筆者鈴木静治様のお名前を、誤って「静司」といたしました。お詫びして訂正します。



碓氷第三橋梁・めがね橋

鳥凧が島根へ渡る

島根県立三瓶自然館では、7月17日(金)から9月27日(日)まで「とぶ」をテーマにした企画展が開催されています。

これは、地球上ではじめて空を飛んだ昆虫たちから、プテラノドン、始祖鳥、そして、鳥類、ほ乳類まで、生きものたちの飛行の不思議と秘密を探ろうという企画で、この企画展を開催するにあたり同館より鳥凧同好会に対し、鳥凧の展示協力



の要請がありました。

鳥凧同好会ではこの要請を受けて、7点の鳥凧(中野久夫作のコウノトリ・ハクチョウ・ヒシクイ・トキ・アハウドリ・オオタカと黒田健一郎作のハヤブサ)を貸与し協力、同企画展会場に展示されています。

なお、同企画展には、ほかに鳥博はアンデスコンドルの剥製、山階鳥研はアハウドリのデコイを貸与し展示協力しています。

あびこ楽校フェスティバル2009 に展示参加

9月に行われる「生涯学習あびこ楽校フェスティバル2009」に、友の会が博物館と共同で展示参加します。今回のフェスティバルのメインテーマは「習」。アビスタを中心会場に、数々の催しと展示がありますが、当会も博物館と共同で、「歩いて学ぶ手賀沼の自然と文化」をテーマに、市内の歩くコースと主な見所、そしてバードウォッチングの楽しみ方について紹介します。ぜひご覧下さい。

期 間 9月1日～15日午前中

場 所 アビスタ2階 第3学習室前展示ケース

デジカメ同好会今月の写真の案内

デジカメ同好会では「今月の写真」として毎月2名の会員より掲示写真を提供いただき、友の会ルームならびにホームページに掲示しています。

今年より今月の写真印刷は西巻 実さん、熊倉国勝さんが担当しています。

今月の写真ホームページ編集はひきつづき、安野が担当しています。

写真提供をお願いしていただきました方々につきましては一巡しましたので11月掲示分より新たに次の予定で掲示します。引き続きご覧ください。

2009年 11月 池田日出男、 奥谷鎌二
 2009年 12月 渡邊 成、 北村章子
 2010年 1月 熊倉国勝、 大田キミ子
 2010年 2月 秦 伸光、 柴本三弘
 2010年 3月 柴本法子、 小笹 彰
 2010年 4月 小山雄司、 古賀嗣朗
 2010年 5月 浅野利幸、 森哲太郎
 2010年 6月 神部 充、 井上 正
 2010年 7月 安野昌彦、 吉田隆行
 2010年 8月 諏訪哲夫、 西巻 実

2010年 9月 川上 貢、 村上 稔
 2010年 10月 中西榮子、 中野久夫
 2010年 11月 田中 功、 中西泰三
 2010年 12月 大久保陸夫、 丸田 稔
 2011年 1月 松田幸保、 野口隆也
 2011年 2月 小池 勉、 岡本信夫
 2011年 3月 中根 忠、 大田芳夫
 2011年 4月 勝部 成

掲示予定の方は掲示月の前月20日までに写真ファイルと次の掲示情報を

印刷担当(西巻または熊倉、前月にご案内)と安野宛にお送りください。

1. 写真タイトル
2. 撮影者氏名
3. 撮影年月日
4. 撮影場所
5. 40文字以内のコメント

写真画像の画素数は撮影時のままの大きさでお願いします。トリミングにより小さくなった画素数はそのままです。画像形式は .jpg でお願いします。上記リストに名前のない会員で写真提供いただける方は大歓迎ですので安野までご連絡ください。

この月の鳥は都合でお休みさせて頂きました。

行事報告

ホタルの夕べ

木村 稔

8月2日(日)成田線東我孫子駅前に集合した参加者は51人、鳥の博物館友の会と我孫子野鳥を守る会合同の催しということで大賑わいでした。雨模様の蒸し暑い夜でしたが180匹余りの平家ボタルがカウントされました。谷津を一周すれば300匹くらいになるそうですっかり我孫子の名所になりました。

初めてホタルを見た大喜びの子供。30年振りのホタルですとって昔を懐かしむ人。皆さんそれぞれの思いで淡い光の点滅を眺めました。訪れる人たちのためにホタルの環境を整備しているボランティア方々にお礼を申し上げます。

デジカメ同好会

6月撮影会

実施日 A班 6月12日(金)

B班 6月13日(土)

行先 大磯・逗子

詳細 別掲

参加者 A1班 井上正、野口隆也、鈴木静治、熊倉国勝、中根忠、小山雄司、岩下五郎、山田哲生

A2班 浅野利幸、奥谷謙二、大久保陸夫、吉田隆行、津村勝吉、中野久夫、安野昌彦

B班 諏訪哲夫、神部充、古賀嗣朗、渡邊成、池田日出男、桑森亮、小池勉、柴本三弘、柴本法子
以上24名

6月室内会

実施日 6月27日(土)13:30より

映写 今回は19名が参加した。先日入会した青野さんが初参加した。

今回から1人当たりの出品点数を30枚以内に制限した効果もあって予定時間内に終了できた。今回も浅野さんのコシアカツバメ、中根さんのアカショウビン、安野さんのアオバト、熊倉さんのマミチャジナイ等力作が揃った。

打合せ

9月、10月の行事予定が決まった。

9月撮影会 9月12日(土)三番瀬・谷津干潟

室内会 9月26日(土)13:30～

友の会ルーム

10月撮影会 10月12日(月祝日)葛西臨海公園

室内会 10月24日(土)13:30～

友の会ルーム

次回の勉強会の予定が決まった。

実施日 8月22日(土)室内会の映写終了後
テーマ 各人が教えてほしいと思っている疑問点をあらかじめ井上さんにメールで送っておき、当日フリートークで話し合う。当日の司会は井上さんが担当する。

参加者 熊倉国勝、秦伸光、中根忠、渡邊成、北村章子、西巻実、古賀嗣朗、中野久夫、井上正、浅野利幸、小山雄司、安野昌彦、勝部成、野口隆也、吉田隆行、小池勉、武藤康之、青野宏、諏訪哲夫。
以上19名

7月撮影会

実施日 7月11日(土)

行先 富士山5合目奥庭荘(マイクロバス貸切)

詳細 別掲

参加者 北村章子、諏訪哲夫、中西榮子、浅野利幸、井上正、吉田隆行、中野久夫、古賀嗣朗、池田日出男、野口隆也、安野昌彦、秦伸光、渡邊成、中根忠、中根洋子、田中功、大久保陸夫、秦佐知子、小山雄司、小山和子、岩下五郎、山田哲生
以上22名

コメント:天候もよく、ホシガラス、ルリビタキ、カヤクグリなど鳥もよく出て満足の行く撮影会であった。

7月室内会

期日 7月25日(土)9:30から

映写 今回の参加者は17名だった。今回から友の会が新しく購入したプロジェクターを初めて使った。非常に明るく、鮮明で好評であった。奥谷さんのツバメの給餌、吉田さんのアオバズク、熊倉さんおアオバト、浅野さんのホシガラス、池田さんのノゴマ等々今回も力作ぞろいだった。

打合せ 8月の室内会時に実施することになっている勉強会の講師が熊倉さんに決まった。

テーマは「RAW」について。映写終了後、熊

倉さんから30分ほど解説をしていただきその後質疑応答とする予定。

出席者 秦伸光、熊倉国勝、野口隆也、大久保陸夫、渡辺成、小山雄司、古賀嗣朗、池田日出男、奥谷鎌二、安野昌彦、浅野利幸、中野久夫、吉田隆行、西巻実、松田幸保、井上正、諏訪哲夫
以上17名

みて歩こう会

第68回 小江戸 川越を歩く

実施日 6月21日(日)
コース 我孫子(集合) 新松戸 北朝霞...東武朝霞台 東武川越...光西寺...中院...仙波東照宮...喜多院・五百羅漢...(昼食)...浮島稻荷神社...富士見櫓跡...三芳野神社...川越城本丸御殿(保存修理中)...太田道灌像...札の辻...菓子屋横丁...蔵造りの町並み...時の鐘...川越駅(解散)
参加者 井上正、染谷迪夫、岡廣志、茨木正義(担当)加藤文雄、金成典知 以上6名
朝のうち強い雨が降っていたので参加を見合わせた人が多かったようで、駅に集まったのは6人だけ。でも現地では殆ど傘を使わなくていいほどの天気、予定のコースを順調に歩いた。日曜のため観光客が多く、喜多院や蔵の町は混雑していた。参加者が大勢だったら、苦労が多かったかもしれない。

第69回 下町散策 浅草

実施日 6月30日(火)
コース 我孫子 上野(地下鉄) 浅草(文化観光センター)...雷門...仲見世...宝蔵門...浅草寺本堂...観音堂...六角堂...五重塔(昼食)...浅草六区...TEPCO浅草館...合羽橋散策(一次解散)...浅草(つくばエクスプレス) 北千住 我孫子
参加者 小玉文夫、小玉信子、山田哲生、茨木正義、脇谷房子、山本貞江、浅妻佐喜恵、市村偕子、天野初恵、安部立子、井上正、高橋英満、牧野光顕、勝田清、橋本清、松下勝子、小林秀美(担当)染谷迪夫、岡廣志 以上19名
日本を代表する観光地、浅草を地元の観光ボランティアの案内で、浅草寺を中心に仲見世、繁華街六区、合羽橋など下町の雰囲気、歴史、文化を一般観光と違った視点で散策。浅草の成り立ち、浅草寺の建立経過、繁栄、そこに暮らす庶民とのつ

ながり、六区の浅草公会堂の前には有名人の手型があり、自分の手と合わせたりしてミーハー気分浸ったり、繁華街では、チョッと有名な店で食事をしたり、合羽橋の調理器具の専門店をウインドショッピングをしたり、楽しく有意義な歩こう会でした。

第70回 我孫子の史跡を歩く(2)

実施日 7月7日(火)
コース 湖北駅...庚申塔...天照神社(二十一仏板碑)...長光院...法岩院...水神社...古利根沼...芝原城跡...順道塚...龍泉寺...照明院不動堂...湖北一里塚...中野治房邸...湖北駅(解散)
参加者 岡廣志、戸辺茂、茨木正義、漆原徳太郎、渡辺成、須貝基康、植田啓介、染谷迪夫、中野久、高橋英満、井上正、古賀清昭、岡本信夫、山田哲生、牧野光顕、桑嶋光子、脇谷房子、上野竹子、榎木清子、加藤文雄、木村稔(担当)石田守一、金成典知 以上23名
市内の史跡を見て歩く2回目。湖北地域の北部を右回りに3時間強歩く。梅雨の晴れ間の蒸し暑い日だったが、全員最後まで歩ききった。
石田館長の専門知識による詳しい説明は勉強になった。とくに芝原城は、中世の大きな城で、現実に攻防戦があったと見られること、法岩院の寺域はこの城の出城だったこと、城域の一部が削られて、それが明治の利根川流路変更の際に土砂として使われたことなど、説明がなければ気付かないことが多かった。



天照神社・二十一仏板碑前にて

第71回 碓氷線廃線跡を歩く

実施日 7月20日(月・祭)
コース 我孫子駅 上野駅 高崎駅 横川駅...碓

行事報告

氷峠関所跡...旧丸山変電所...峠の湯（小休止）
...第一、第二、第三、第四、第五トンネル...めがね橋(碓氷第三橋梁)...第一～第五トンネル...
峠の湯アプト(昼食)...坂本宿...薬師坂...峠の横丁麻苧茶屋...横川駅 高崎 上野 我孫子駅

参加者 畠中暁美、金子幸子、川越久枝、間藤恵子、上野竹子、浅妻佐喜恵、松下勝子、伊藤榮、脇谷房子、野辺紀子、加藤文雄、茨木正義、中野久夫、天野哲男、天野康子、井上正、高橋一博、高橋京子、野口隆也、野口洋子、金成典知、岡本信夫、山田哲生、橋本清、漆原徳太郎、牧野光顕、勝田清、高橋英満、岡野武雄、岡野房子、弘實さと子、山本貞江、小玉信子、水上香苗、窪田賢史、岡たい子、池田信彦、池田節子、奥村正明、小林秀美

(担当)岡廣志、染谷迪夫 以上42名

碓氷峠は急勾配で列車は越えるのに困難しました。明治の終り頃アプト式という歯車のついた線路を作りそれを登ったそうですが、鉄道の技術の発達で、アプト式は廃線になり、そこが遊歩道に

なっています。緑陰の碓氷峠を遊歩道になったところを散策しました。当時の鉄道関係の施設やトンネルや鉄橋はレンガできていて、当時の技術の確かさ、壮大さを体感しました。又、中山道の坂本宿を訪れて、昔の宿場町の面影を探しました。所々に残っていて懐かしい思いがしました。駅弁の老舗、「峠の釜めし」も堪能しました。散策距離も適当でよかったですと思います。天気もよく、暑かったのですが、時折吹く涼風が心地よく、楽しい「みて歩こう会」だったと思います。



中山道・坂本宿にて

鳥の博物館からのお知らせ

手賀沼定例探鳥会「てがたん」

期 日 9月12日(土)

10月10日(土)

集 合 鳥博玄関前 10:00 12:00 解散

参加費 保険料・資料代として1人100円
いただきます。

持ち物 双眼鏡(お持ちの方)、筆記用具、
貸し出しの双眼鏡有り

申込み 不要 雨天中止

内 容 鳥の博物館周辺を散策しながら鳥や昆虫、植物などを観察します。毎月第2土曜日に行っています。9月のテーマは「トンボとバッタをさがそう」、10月のテーマは「秋の花と巻きつく植物」です。定例の観察コースを歩きながら手賀沼遊歩道で見られる赤トンボの仲間やバッタ、コオロギ、キリギリスの仲間をじっくりと観察します。また10月には秋に咲く花や蔓(つる)性植物の形や生存戦略について観察します。

フロアスタッフイベント

- バッタのルアーを作って

バッタ釣りを楽しもう -

日 時 9月26日(土) 13:30 ~ 15:00

場 所 鳥の博物館 2階多目的ホールに集
合

対 象 小学生以上(小学校低学年の方は
保護者同伴が望ましい)

参加費 無料(高校生以上は入館料がかか
ります)

申込み 不要(材料がなくなり次第終了し
ます)

問合せ 我孫子市鳥の博物館 7185-2212

バッタ釣りを知っていますか? バッタは自分に似た形のものを近づけると、仲間だと思って飛びついてきます。その習性を利用してバッタ釣りをすることができるのです。そのバッタ・ルアーを作ってバッタ釣りを楽しみましょう! 10月4日にはバッタ釣りができる自然観察会を企画して

鳥の博物館からのお知らせ

います。ぜひ作ったバッタルアーで参加してみましょ！

フロアスタッフイベント

- 飛べ！紙のひこうき -

日 時 10月10日(土) 10:00 13:30
2回開催

場 所 水の館3階研修室

対 象 小学生以上(小学校低学年の方は保護者同伴が望ましい)
午前午後各20名

参加費 無料

申込み 不要 先着順(材料がなくなり次第終了します)

15分前に受付を開始します。

問合せ 我孫子市鳥の博物館 7185-2212

鳥の紙ひこうきを作って飛ばします。通常の折り紙飛行機ではなく、飛行力学の原理に基づきゴムの力で長時間滑空することができる紙ひこうきです。みなさんもぜひ鳥の紙ひこうきを作って大空に飛ばしてみませんか？

あびこ自然観察隊

バッタとあそぼう

日 時 10月4日(日) 9:00 ~ 12:00

場 所 利根ゆうゆう公園自然観察ゾーン

集 合 午前8時45分までに「つつじ荘」前に集合 駐車場はつつじ荘裏(雨天・冠水の場合は中止)

参加料 保険料・資料代として1人100円いただきます。

人 数 40名(小学生は保護者同伴でお願いします)

持ち物 帽子、水筒、筆記用具、持っている人は虫かごと捕虫網
フロアスタッフイベントに参加した方は、自分で作ったバッタルアー

受 付 鳥の博物館 電話で申し込み
7185-2212

申込み受付は9月16日より

講 師 鳥の博物館市民スタッフ・鳥の博物館友の会・公園緑地課職員・鳥の博物館学芸員

問合せ 鳥の博物館 7185-2212

公園緑地課 7185-1542

利根ゆうゆう公園でバッタルアーを使ってバッタ捕りをします。実際にバッタを手にとって観察します。バッタの他にもさまざまな昆虫や鳥にも出会えます。小中学生から大人まで楽しめる、やさしい自然解説、「しらべ学習」や自由研究にも役立つ観察会です。ぜひご参加下さい。この自然観察会は公園緑地課と共催する我孫子の身近な自

鳥の博物館ミュージアムコンサート

ハンドベルの音色をあなたに

ミュージアムコンサートの第2弾、ハンドベルコンサートです。国内外で活躍している市内のハンドベル演奏グループ、すずの木ハンドベル・クワイアのみなさんによるハンドベルの音色と迫力をお楽しみ下さい。楽しいお話を交えて開催されます。

日 時 10月18日(日) 15:00 ~ 16:30

場 所 鳥の博物館3階世界の鳥コーナー当日の午後、3階世界の鳥コーナーは閉鎖されますのでご了承下さい。

演奏者 すずの木ハンドベル・クワイアの

みなさん

定 員 60人(応募者多数の場合は抽選)

参加費 無料(ただし入館料が必要です)

申込み 往復ハガキ(1枚2名まで。往復ハガキ以外は無効)にミュージアムコンサート参加希望とお書きになり、住所、氏名(2名の場合は各自それぞれのお名前を漏らさずお書き下さい)、電話番号を明記し、〒270-1145 我孫子市高野山234の3鳥の博物館までご郵送下さい。

10月8日当日消印有効とします。

往復ハガキ受付は10月1日より

問合せ 鳥の博物館 電話 7185-2212

鳥の博物館からのお知らせ

シロハヤブサの木象嵌が寄贈されました

寄贈された 木象嵌(もくぞうがん)は、平成21年6月5日、我孫子市中里在住の中野真弓様より、我孫子市に寄贈いただいた木象嵌です。製作者は市内在住の名工、内山春雄氏が制作した、吹雪の中に佇(たたず)むシロハヤブサです。2階多目的ホールに展示致しました。どうぞ来館の際にはご覧いただければ幸いです。



木象嵌とは、色のちがう種々の木材を嵌(は)め込んで絵画や図柄を表現する木画技術で、正倉院宝物殿の中にもこの手法を用いた宝物が納められています。

シロハヤブサは、北極圏で繁殖する大型のハヤブサの仲間で、冬期、ごく少数が北海道に渡来します。

然を訪ねる観察会です。

鳥の博物館企画展のご案内

第53回企画展「てがたんPart - かわり合ってくる身近な生物 - 」

9月27日(日)まで開催しています。

10月1日より鳥の博物館友の会による友の会展「外来種の鳥と珍鳥」を開催します、

【鳥の博物館の休館日】

9月7日(月)、14日(月)、23日(木)、
28日(月)

10月5日(月)、13日(火)、19日(月)、
26日(月)

事務局からのお知らせ

JBF 2009について

今年のジャパンバードフェスティバルは11月7日(土)・8日(日)に開催されます、友の会は鳥凧揚げの関係で、今年も手賀沼公園になります。

詳細は次号でお知らせしますが、今年もお手伝い等よろしくお願ひします。

会員数

8月10日現在の会員数は249名(家族を入れると322名)です。

メールアドレスの変更連絡について

メールアドレスを変更された方は、登録しているメーリングリスト(tori-tomo・Digi-Birds・mite_arukou)と新・旧アドレスを併記して事務局に連絡ください。

連絡先 松田幸保 shobin@par.odn.ne.jp

原稿募集

「オオバン」では会員の皆様から原稿を募集しております。

鳥に関するエッセイ、詩歌、挿絵など、その他ジャンルを問いません。皆様の投稿をお待ちしております。鳥に関する質問などもお寄せください。

原稿送付先

〒270-1164 我孫子市つくし野3-7-105

岡本信夫宛

Mail okamoto.n@jcom.home.ne.jp

オオバン 50号 2009.9.1発行
発行 我孫子市鳥の博物館友の会
発行人 木村 稔
編集人 大田芳夫 岡本信夫

事務局 松田幸保

〒272-1145 我孫子市高野山234-3

我孫子市鳥の博物館内

TEL 04-7185-2212 FAX 04-7185-0639

<http://friend.bird-mus.abiko.chiba.jp/>

会費 小中高学生会員 1,000円 一般会員 2,000円

家族会員 3,000円 賛助会員 1口 10,000円

郵便振替 口座 00160-8-36727

我孫子市鳥の博物館友の会